

# 2024年度 中間期決算説明資料

2024年度中間期決算概要および2024年度通期見通し

2024年12月5日  
シンフォニアテクノロジー株式会社  
(証券コード6507)

## ● 24年度上期業績について

- ✓23年度上期に対し、総じて増収増益となり、過去最高益。
- ✓受注高は、調整局面にあった半導体関連も徐々に回復しつつあり、防衛、宇宙関連も引き続いて増勢の動き。

## ● 24年度業績予想について

- ✓半導体関連の回復は25年度以降と考え、生産体制構築、製品開発を実行。
- ✓収益基盤の健全化に向け、採算性改善とグループのエンジニアリング会社集約による効率化を推進。
- ✓航空宇宙の生産増強。

## ● 企業価値向上に向けた取組について

- ✓中長期目標「新たなステージでの安定した企業成長と、社会のサステナブルな発展への貢献」に向けた、重点事業(半導体関連/航空宇宙)での取組。
- ✓業績予想上振れに伴う株主還元(増配)の決定、機関投資家様向けIR活動の充実。

# 会社概要



- 創業 ▶ 1917年5月（大正6年）
- 設立 ▶ 1949年8月（昭和24年）
- 本社所在地 ▶ 東京都港区芝大門1-1-30芝NBFタワー
- 資本金 ▶ 101億5,696万円（2024年3月末現在）
- 従業員 ▶ 連結3,683人 単独1,965人（2024年3月末現在）
- 事業内容 ▶ 半導体搬送、航空、制御機器の開発・製造・販売
- 事業体制 ▶ 国内製造拠点3拠点 子会社12社（2024年10月1日）
- 上場市場 ▶ 東証プライム市場（証券コード：6507）

1878年～  
鳥羽造船所

1917年～  
鈴木商店  
/ 神戸製鋼

1949年～  
神鋼電機

2009年～  
シンフォニア  
テクノロジー

1878年 鳥羽造船所が創立。当社発祥

1917年 鳥羽造船所に電気係を組織。当社創業

1920年 帝国人造絹糸（現・帝人）の依頼でポットモータの製作開始

1920年 航空機機上用風車式直流発電機を製作。航空機用電装品事業へ参入

1921年 神戸製鋼所鳥羽電機製作所となる

1949年 神戸製鋼所が三分割され、神鋼電機株式会社設立

1952年 東京証券取引所一部に上場

1981年 直流ダイナモメータを開発。自動車用試験装置事業に参入

1986年 H-Iロケットの油圧ポンプ用電動モータを開発。宇宙分野に参入

1989年 半導体製造用縦型熱処理炉を納入。半導体製造装置事業に参入

1998年 300mmFOUP対応のLPを大手半導体製造装置メーカーへ納入

2009年 商号をシンフォニアテクノロジー株式会社に変更

2009年 300mmFOUP対応N2パージロードポートを開発

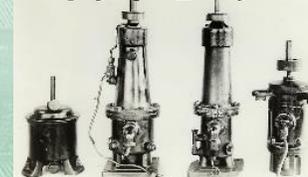
2017年 創業100年を迎える

## 創業当時の製品

### 船舶用発電機



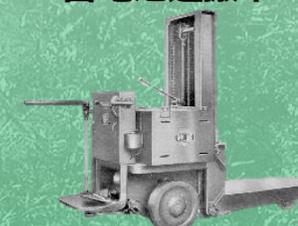
### ポットモータ

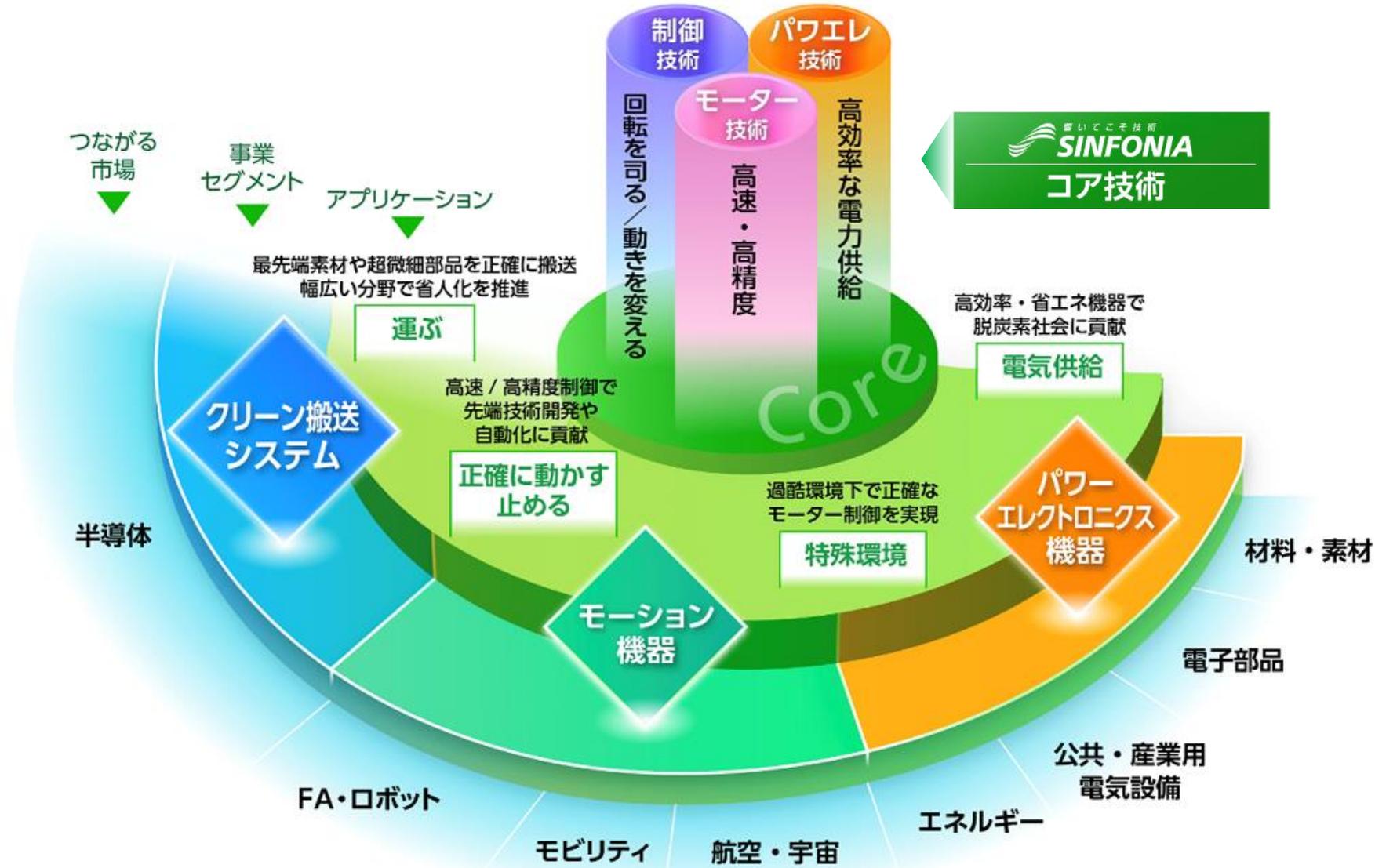


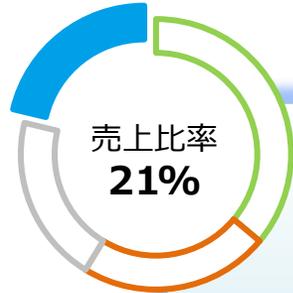
### 航空機用電装品



### 蓄電池運搬車







## クリーン搬送システム

関連市場：半導体



伸ばす事業

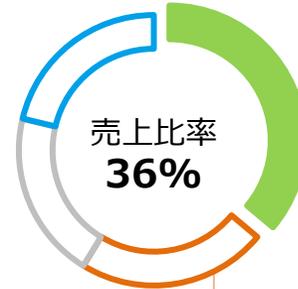


## エンジニアリング&サービス

設置工事、アフターサービス

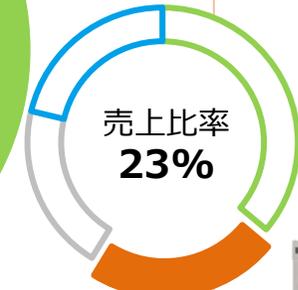
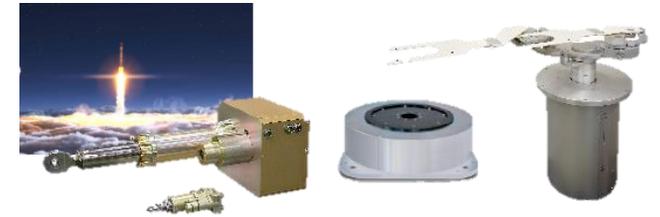


顧客満足度を向上させる事業



## モーション機器

関連市場：FA/ロボット、航空/宇宙



## パワーエレクトロニクス機器

関連市場：インフラ、エネルギー

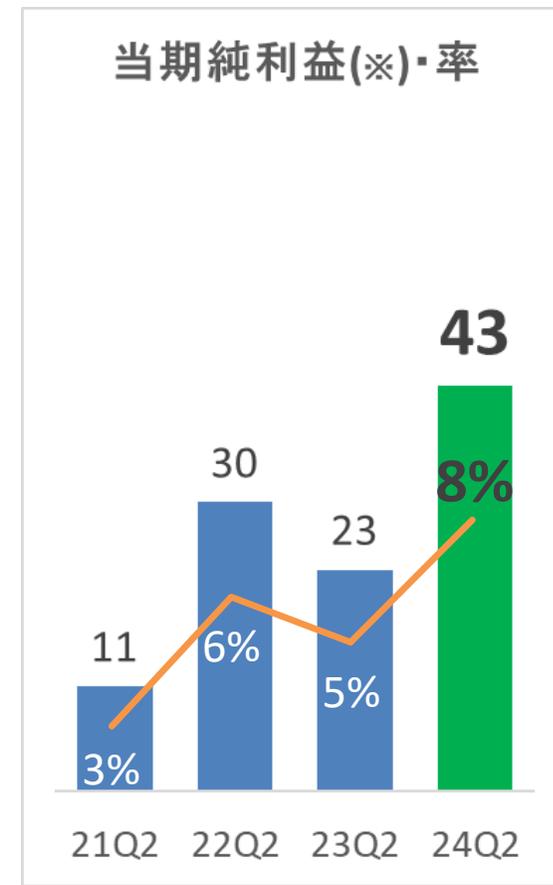
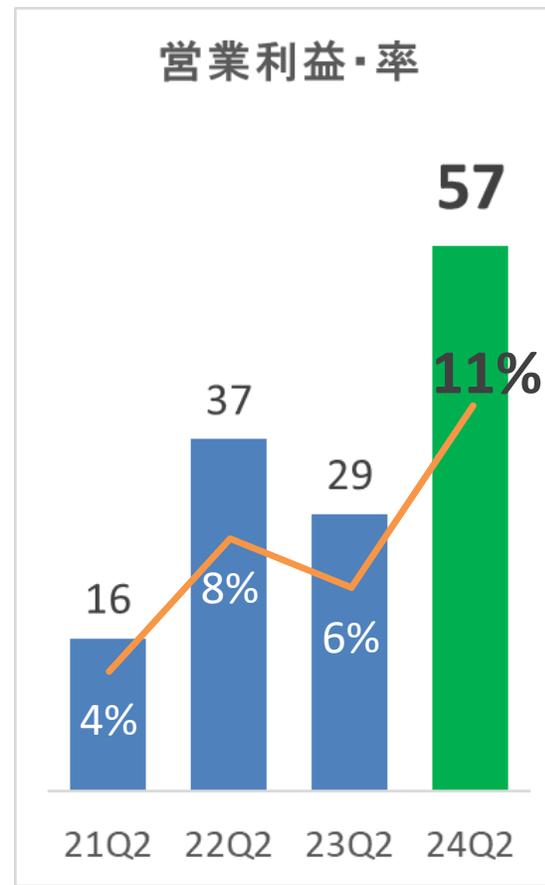
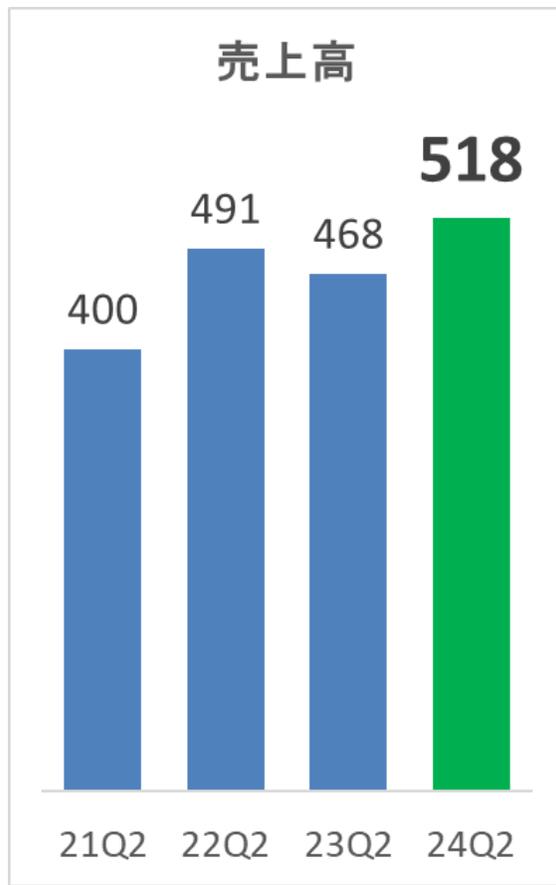
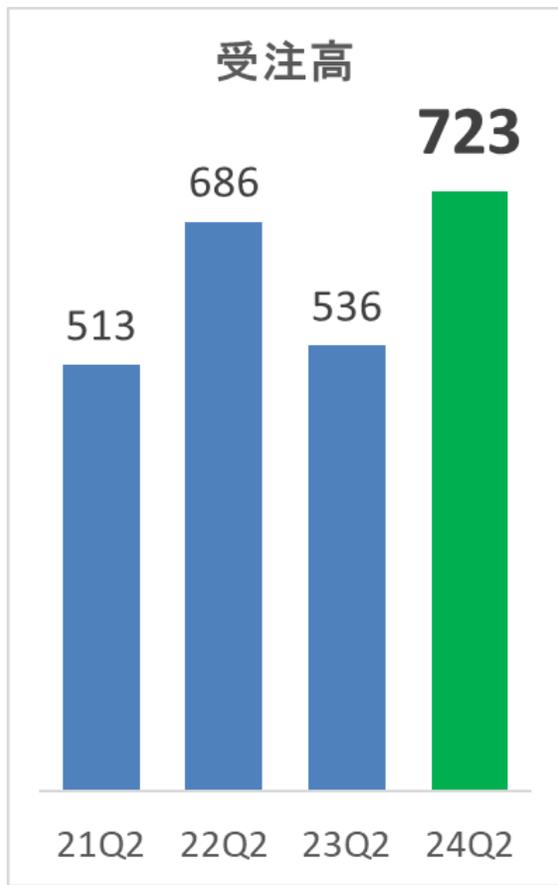


安定させる事業

# 2024年度上期決算概要

## ● 今期過去最高益を記録

(単位：億円)



(※)親会社株主に帰属する中間純利益

(単位：億円)

	23年度 上期実績	24年度 上期実績	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	536.4	723.0	186.6	34.8%
売上高	467.9	517.5	49.6	10.6%
営業利益	29.2	57.4	28.2	96.5%
経常利益	33.6	59.3	25.7	76.2%
当期利益(※)	23.4	42.8	19.4	83.1%
研究開発費	16.6	17.2	0.6	3.1%
設備投資	38.9	16.2	△22.7	△58.3%

◆受注高は、航空宇宙での大幅増と、在庫調整が進む半導体関連の増加により増。

◆売上高は、航空宇宙、半導体関連、自動車試験装置の増により増収。

◆損益面は、航空宇宙、半導体関連の売上増により増益。

(※)親会社株主に帰属する中間純利益

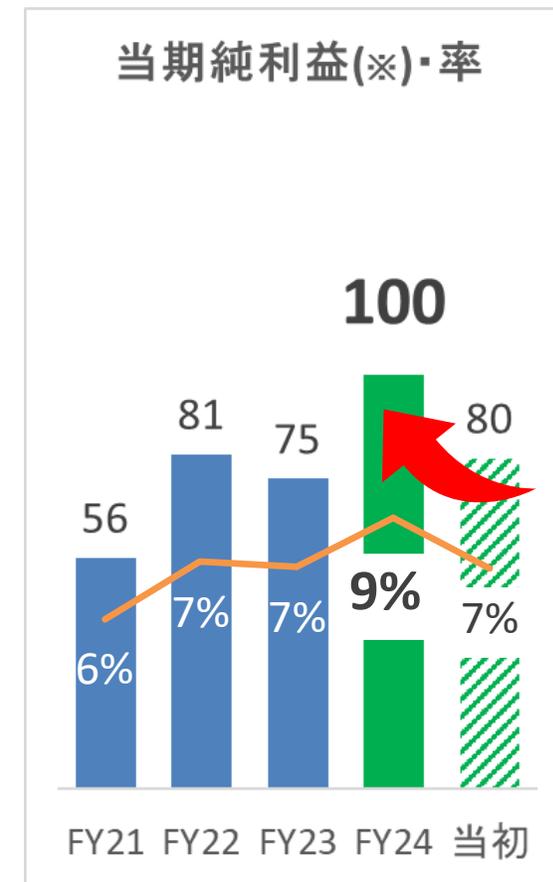
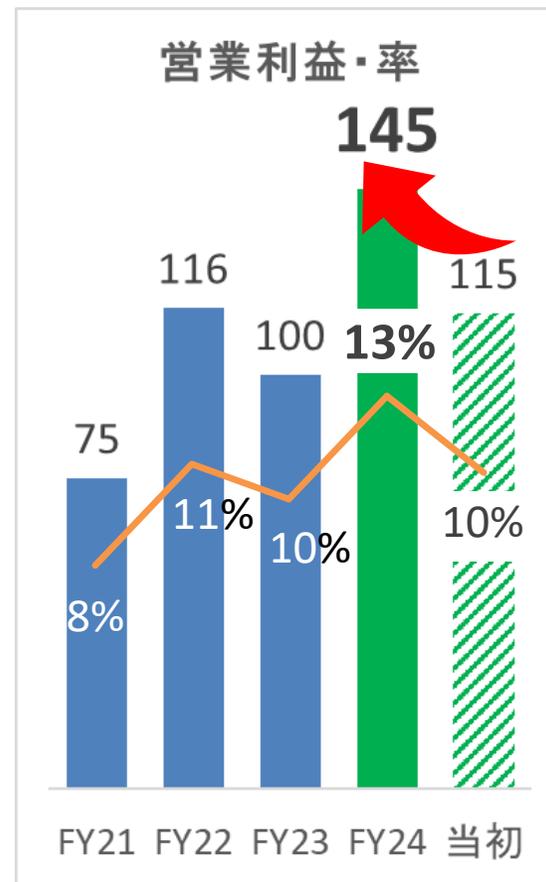
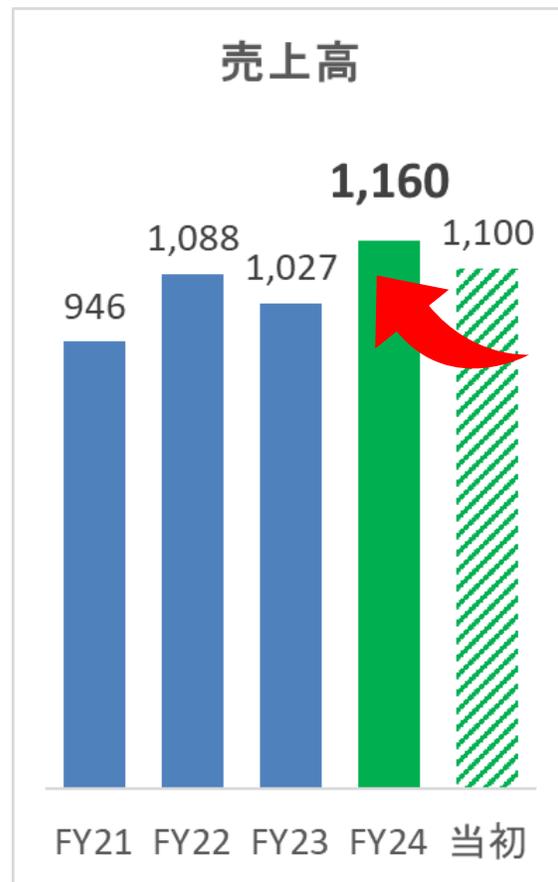
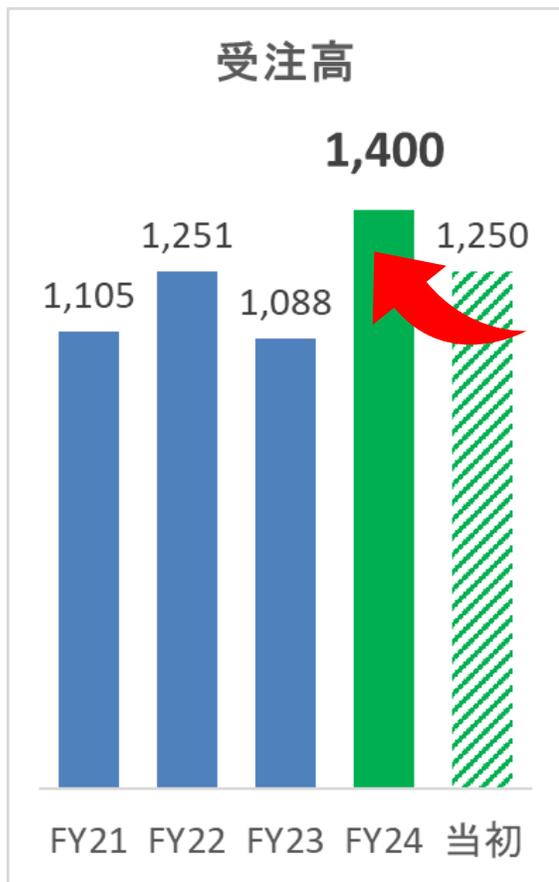
(単位：億円)

		23年度 上期実績	24年度 上期実績	対前年比	
				増減額	増減率
クリーン搬送 システム	受注高	98.2	122.2	24.0	24.5%
	売上高	101.1	112.3	11.2	11.1%
	営業利益	11.4	16.0	4.6	40.5%
モーション機器	受注高	188.2	356.7	168.5	89.5%
	売上高	180.8	193.6	12.8	7.1%
	営業利益	10.9	19.6	8.7	80.3%
パワー エレクトロニクス機器	受注高	137.5	118.6	△18.9	△13.8%
	売上高	100.8	108.0	7.2	7.2%
	営業利益	1.3	10.9	9.6	765.8%
エンジニアリング & サービス	受注高	112.5	125.5	13.0	11.6%
	売上高	85.3	103.7	18.4	21.6%
	営業利益	5.9	10.9	5.0	85.2%
計	受注高	536.4	723.0	186.6	34.8%
	売上高	467.9	517.5	49.6	10.6%
	営業利益	29.2	57.4	28.2	96.5%

# 2024年度通期見通し

- 前回予想を上回り、過去最高益の予想

(単位：億円)



(※)親会社株主に帰属する中間純利益

(単位：億円)

	23年度 実績	24年度 予想	対前年比 増減率	対予想比		対中期計画	
				前回予想	増減率	24中期	増減率
受注高	1,087.8	1,400	28.7%	1,250	12.0%	1,200	16.7%
売上高	1,026.6	1,160	13.0%	1,100	5.5%	1,100	5.5%
営業利益	100.1	145	44.9%	115	26.1%	95	52.6%
経常利益	105.3	145	37.7%	115	26.1%	95	52.6%
当期利益 <sup>(※)</sup>	75.1	100	33.2%	80	25.0%	64	56.3%
研究開発費	34.2	43	25.7%	43	—	2024年度下期 想定為替レート 1ドル=140円	
設備投資	60.7	48	△21.0%	48	—		

(※)親会社株主に帰属する中間純利益

(単位：億円)

	23年度 実績	24年度 予想	対前年比 増減率	対前回予想比	
				当初予想	増減率
<b>受注高</b>	197.6	253	28.0%	260	△2.7%
<b>売上高</b>	218.1	245	12.3%	243	0.8%
<b>営業利益</b>	33.1	45	35.8%	45	-

**【事業環境】**

需要の回復は25年度以降の見通し

**【方針】**

市場回復への備えと、後工程向け商品も含めた新商品開発

**【取り組み】**

- ◆顧客動向の迅速かつ的確な把握と生産対応
- ◆EFEM・ソーターなどのシステム商品の拡販/後工程向け商品開発

(単位：億円)

	23年度 実績	24年度 予想	対前年比 増減率	対前回予想比	
				当初予想	増減率
<b>受注高</b>	428.4	631	47.3%	505	24.9%
<b>売上高</b>	370.6	443	19.5%	413	7.3%
<b>営業利益</b>	32.3	47	45.7%	35	34.3%

## 【事業環境】

宇宙・防衛関連の拡大継続

## 【方針】

収益安定化に向け、成長市場へ投資

## 【取り組み】

- ◆ 航空宇宙の増産対応と、宇宙・防衛領域拡大を目指した商品開発
- ◆ 半導体後工程向けも含めた半導体市場での需要創出

(単位：億円)

	23年度 実績	24年度 予想	対前年比 増減率	対前回予想比	
				当初予想	増減率
<b>受注高</b>	242.7	280	15.4%	265	5.7%
<b>売上高</b>	232.4	252	8.4%	234	7.7%
<b>営業利益</b>	15.8	28	77.3%	17	64.7%

**【事業環境】**

「脱炭素」「省エネ」に向けた産業用機械ニーズ拡大

**【方針】**

「サステナブル社会」実現のための「電動化」「脱炭素」をキーワードとした事業拡大

**【取り組み】**

- ◆ 水素・アンモニア領域をターゲットにした電動力機器の開発
- ◆ 大容量超高速技術を軸にした試験装置の開発

(単位：億円)

	23年度 実績	24年度 予想	対前年比 増減率	対前回予想比	
				当初予想	増減率
<b>受注高</b>	219.1	236	7.7%	220	7.3%
<b>売上高</b>	205.4	220	7.1%	210	4.8%
<b>営業利益</b>	19.6	25	27.4%	20	25.0%

## 【事業環境】

半導体製造工場向け搬送設備工事は、高水準を維持  
電気工事は官民ともに堅調

## 【方針】

増加する工事案件の確実な取込に向けた体制構築とアフターサービスの充実

## 【取り組み】

- ◆半導体工場の設備工事増加に対応するためのリソース投入
- ◆電気設備等、民間設備工事案件獲得に向けた積極的な営業活動

# 企業価値向上に向けた取り組み

## ① ROEの安定化

(資本収益性の向上)

- ・ 利益率の向上
- ・ 積極的な拡大投資と効率の改善
- ・ キャッシュ創出による株主還元

長期戦略の  
充実

## ② 当社事業への 理解促進

- ・ 分かり易い事業説明と積極的な開示
- ・ IR活動の充実

投資家様との  
対話の充実

企業価値向上

### 中長期戦略の充実

- 2030年に向けた長期目標の見直しと具体化
- 2025～2027年度 中期経営計画の策定において資本コストや株価を意識した事業ポートフォリオの検討
- CCC改善に向けたリードタイム短縮策の実行
- ROS（営業利益）改善策の実行

➡ さらなる具体化と実行へ

### 投資家様との対話の充実

- IR専任チームを設立
- 中長期戦略および事業ポートフォリオの開示

➡ カバーアナリスト増加へ

中長期目標 新たなステージでの安定した企業成長と、社会のサステナブルな発展への貢献

中計  
売上目標  
**1100億円**  
営業利益目標  
**10%**



2024年度  
中計目標

成長  
事業

## 半導体関連事業

- ・半導体市場の成長に伴う拡大
- ・真空搬送システム  
後工程搬送システム  
プロセス装置駆動機構
- ※生産キャパシティの増強は完了

基盤  
事業

## 自動化

- ・防衛・宇宙分野の成長
- ・防衛装備品の無人化対応

## 脱炭素/電動化

- ・脱炭素製品へのシフト

新規事業…医療（再生医療） / 物流で開拓中



2030年度に目指す姿

売上目標  
**2000億円**  
営業利益目標  
**15%**

+500億円

+200億円

+200億円

## 2030年の目標事業ポートフォリオ

### クリーン搬送

- ・成長事業として重点拡大

### 航空宇宙

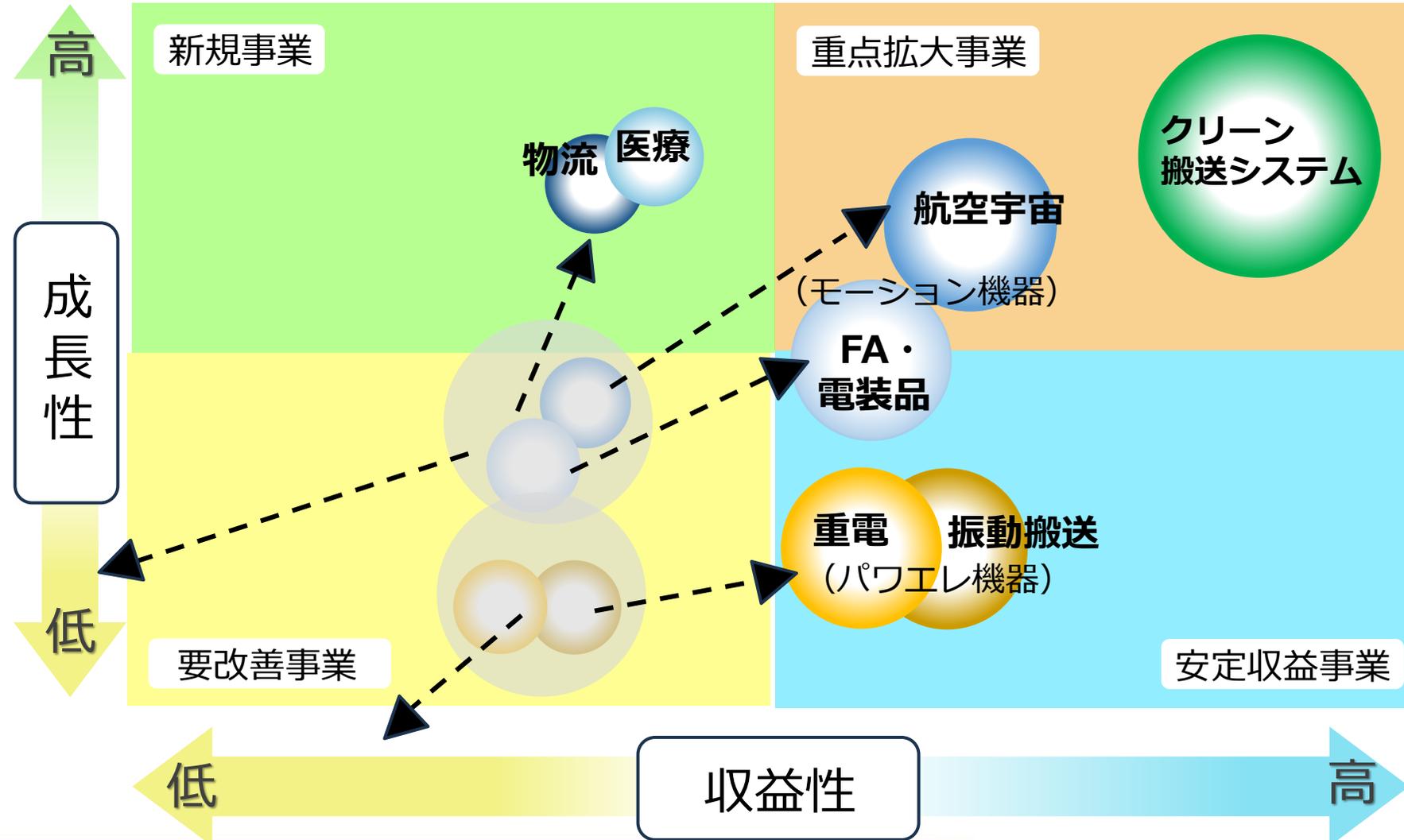
- ・防衛・宇宙市場の拡大に合わせて拡大

### FA・電装品

- ・半導体関連製品の拡大  
… 安定収益
- ・物流・医療事業の創出

### 重電・振動機器

- ・電動化・脱炭素へシフト  
… 収益改善



## 製品概要と強み

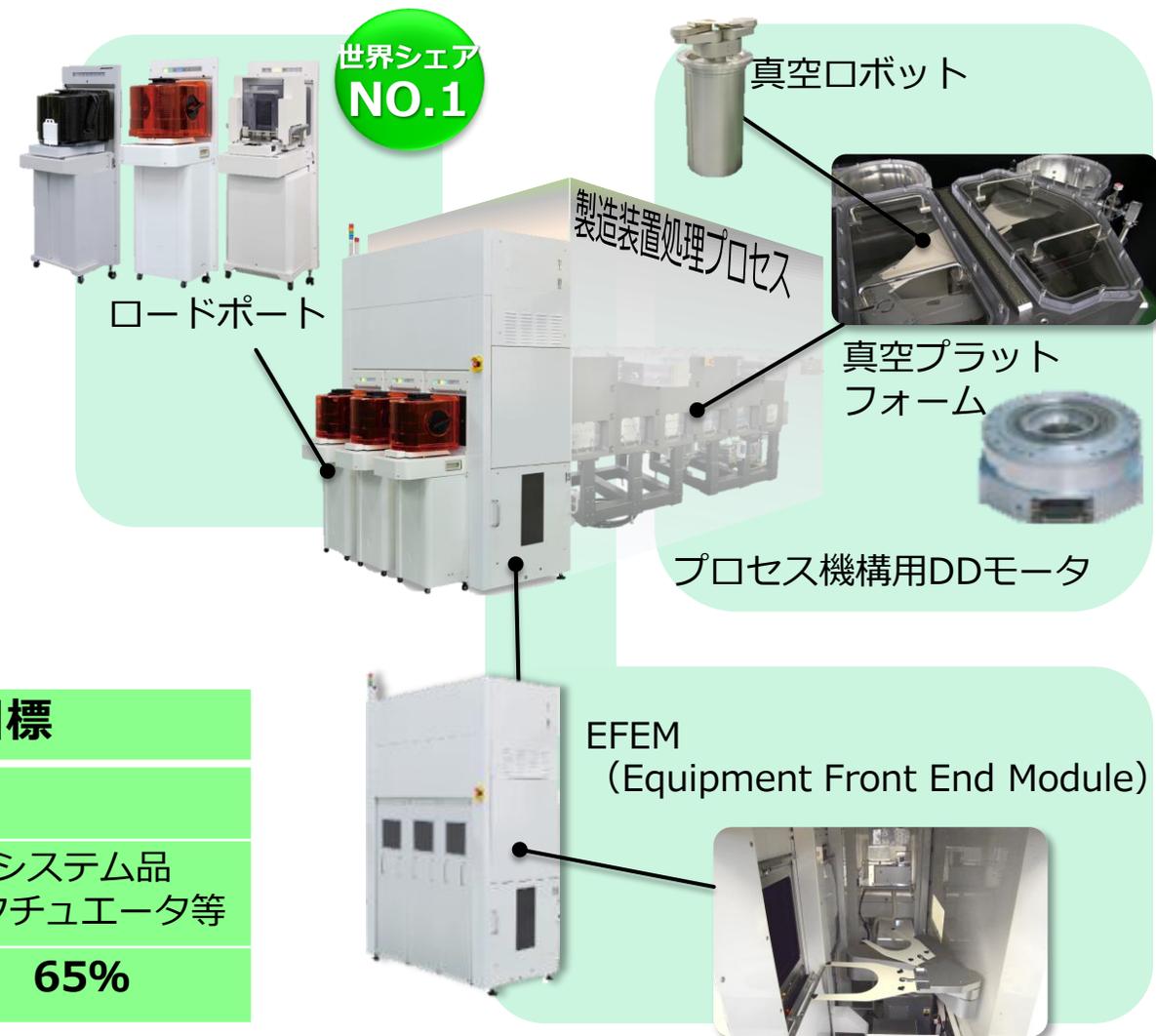
### < 製品概要 >

- ▶ ロードポート/EFEM (クリーン搬送)
- ▶ DDモーターユニット (モーション)
- ▶ 天井搬送設備工事 (エンジニアリング&サービス)

### < 強み >

- ▶ 精密搬送技術に強み
- ▶ 搬送機器メーカーとして業界で確固たるポジショニング
- ▶ 半導体業界における広範な顧客網

	2023年度		2030年度目標	
売上高	300億円		<b>800億円</b>	
内訳	ロードポート	システム品 アクチュエータ等	ロードポート	システム品 アクチュエータ等
	60%	40%	<b>35%</b>	<b>65%</b>



## 製品概要と強み

### < 製品概要 >

- ▶ 発電機/電源/配電盤/アクチュエータ等の航空機用電装システム
- ▶ ロケット用アクチュエータ/コントローラ

### < 強み >

- ▶ 防衛用電源システムをトータルで供給できる国内唯一のメーカー
- ▶ 防衛予算増額/ロケット打ち上げ回数増加計画 (成長市場)



(C)JAXA

	~2023年			2030年度目標		
売上規模	100億円強			300億円		
内訳	防衛 (防衛省)	防衛 (プライム)	宇宙	防衛 (防衛省)	防衛 (プライム)	宇宙
	45%	45%	10%	20%	70%	10%

## 配当

業績予想の修正にともない**増配**

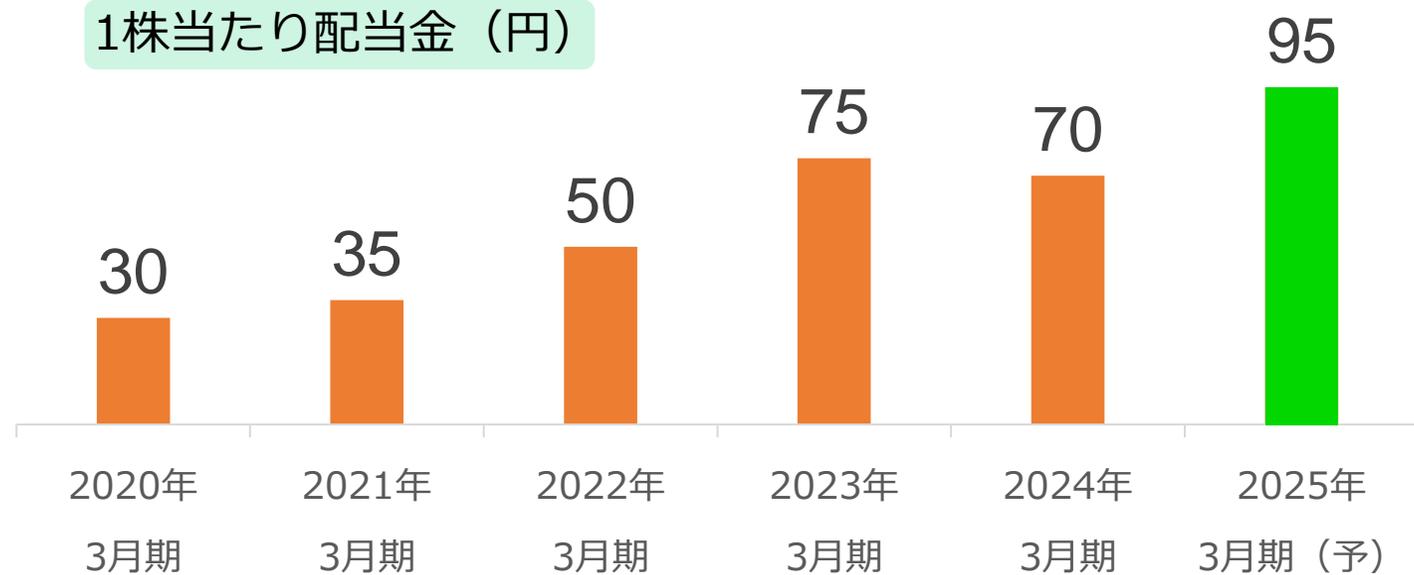
変更前

1株当たり75円

変更後

1株当たり**95円**

1株当たり配当金（円）



## 還元方針

2025年5月までに中計等で公表

## 機関投資家様向けIR

	2023年2Q -24年1Q	目標	追加事項・今後の方針
スモールミーティング の開催	8回	4回/年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>IR専任担当を配置</li> <li>長期戦略の開示</li> </ul> ⇒カバーアナリスト 増加活動へ
個別面談の充実	154回/年	40回/年以上	

## 個人投資家様向けIR

	目標	2024年度 1Q
情報発信の充実	株主専門媒体の活用	投資家向け専門媒体 3社 5掲載
事業説明会の実施	3回/年以上	開催方法検討中



株主手帳「2024年7月号」

**ご清聴ありがとうございました**

本資料中の見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

シンフォニアテクノロジー株式会社 TEL : 03-5473-1805  
経営企画部 FAX : 03-5473-1841

